

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

February 2023

Écoutez Bien Vol.39 No.455

2

「平成史」は書けるのか

表紙／新しい気持ち(柴崎町)



Let's GO DICE



立川のために頑張る

DICE 所属の外国籍選手を紹介します

Bリーグでは、外国籍選手のベンチ入りは3人、オンコートは各クォーター2人までと決められています。交代で登場する彼らに注目！期待して応援してください。

No.14 トリストティン・ウォーリー

アメリカ合衆国出身 アーカンソー州立大学卒業
ジョージア、キプロス、スウェーデン、イタリア、ウクライナで選手経験を積んできた201cm、100kgのオールラウンダー。ポジションはPF(パワーフォワード)。



No.34 スコット・ブラクニー

アメリカ合衆国出身 モンタナ大学卒業
ルーキーです。「これから、これから」と成長が期待される存在。206cm、104kgありますが、コートに立つと細く見えます。身体作りもこれから楽しみな、ポジションはC(センター)。



No.50 ジージオ・ペイン

バハマ出身 サウスミシシッピ大学卒業
2017年からは東京サンレーブス、鹿児島レブナイズ、岩手ビッグブルズ、金沢武士団、三遠ネオフェニックス、しながわシティバスケットボールクラブに所属した日本での経験豊富なベテランプレイヤー。213cm、100kg、ポジションはもちろんC(センター)。



社会貢献活動
災害支援のために募金活動をする選手たち

立川リーグのエキジビションゲーム開催



12月17日、立川ダイスVSさいたまブロンコスの試合前に、アリーナ立川立飛の地域貢献活動として立川リーグエキジビションゲームが行われました。立川リーグとは、立川を中心とした中央線沿線の都立高校バスケット部のリーグです。この日はその立川リーグの選抜チームが実践学園と対戦。とても面白いゲームでした。

これからのホーム戦

- 1/21(土) 17:00～ 山口ペイトリオッツ
- 1/22(日) 13:00～ 山口ペイトリオッツ
- 2/4(土) 17:00～ ベルテックス静岡
- 2/5(日) 14:00～ ベルテックス静岡
- 2/11(土) 17:00～
東京ユナイテッドバスケットボールクラブ
- 2/12(日) 14:00～
東京ユナイテッドバスケットボールクラブ
- 2/25(土) 17:00～ ヴィアティン三重
- 2/26(日) 14:00～ ヴィアティン三重

歴史資料の 保全活動をしています

失われる資料、失われる歴史

原発被災地から古文書や民具など歴史資料をレスキューする。

一方で、ネットで簡単に売られてしまう郷土資料を購入して目録を作る。

地域の歴史を持ちきれなくなったお宅から、古文書を博物館などに移す。

帰宅困難地区の歴史は、拾い集めるようにしてつなぎ合わせていく。

好きでなければできない仕事だ。

——福島の前被災地から歴史資料をレスキューなさっている方がいました。

西村 原発被災地で津波に遭っていない場所は、資料がそのままだ状態で残っています。帰還できるようになったら除染して放射能を払いますが、除染する際に家なども全部無くしてサラにするんです。なので、家にあるものを見て欲しいという依頼で、そこから資料を持ち出して目録を作ります。教育委員会の方たちと一緒にしています。

——レスキューする古文書とかは除染しないのですか？

西村 もちろん全部放射線の線量を測ります。持ち出せないものも出てきます。屋内にあるものは比較的大丈夫なのですが、屋外にある民具だとかかなりの高線量で、迂闊に近づくと被ばくしてしまうことも少し前にはありました。

——保全活動というのは具体的にはどうされることですか。

西村 まったく未整理だった古文書などの歴史資料を保存して目録などをとって、地元の方に還元するという活動で

す。

——具体的には。

西村 昨日も山梨に行ってきましたが、韮崎のお医者さんのお宅で、医学書とか医学関係の古文書、診察の帳簿だったり、軍隊にも行かれていた方のように、日露戦争の従軍日記だったり。全部で千五百〜二千の資料のうち、昨日は二〜三百点の目録をとりました。

——それらの資料の歴史的価値ってどのくらいのものですか。

西村 難しいのは歴史的価値って、その時その時で違います。今の歴史的価値と昔の歴史的価値が違ったりするので、歴史研究者は価値づけを基本的にしません。価値というより、どういう資料なのかを客観的に示すことになります。歴史学的意味でいうと、村においてお医者さんをやっている家だと、地域医療がどのように形成されていったとか。山梨県の場合ですと、地方病とか風土病といわれる日本住

血吸虫症という病気に関する資料ももしかしたら出るかも

西村 檜原でNPOの活動をしています。一九八〇年代から九十年代初頭まで、檜原は歴史がムーブメントになって『檜原村史』という本ができたり、郷土史の先生が何人もいたり、郷土資料館を建てたりしました。それから三十年経って、現在古文書を読める人が一人もいなくなってしまうんです。どこの家に古文書があるかということを教育委員会がまったく把握できていない状態になってしまったのがわかって…。

——どうしてわかったのですか。

西村 檜原の古文書が古書店に売られていたんです。それを買って目録を作って、教育委員会にどうなっているのかと聞いたら、もう全然わからなくなっているという回答だったので、それならば一緒にになりかやりましょうということ、コロナの少し前から始めました。

——古文書は売られてしまっているんですね。

西村 ヤフオクとかメルカリなどでも売っていますね。特に二〇〇〇年以降は加速度的に古文書が売られるようになっていきます。昔だったら古書店とか古物商に持っていかなければ売れなかったものが、今は自分で手軽に売れるので。古文書って読むにはある程度訓練していないと読めませんから、所蔵者が自分で持っていることがかわらないから、博物館や資料館に預けるといふ発想をもってもらいたいですね。

——戦争に行った方の遺品などはどうなのでしょう。

西村 最近はそのような寄贈も多くあるのですが、モノだけでなく、お話や写真がパッケージされているといえます。戦争関係もさることながら、昭和や平成も大事ですね。江戸東京博物館には平成の部分にルーズソックスが展示されています。平成は資料が少ないんです。前述の浪江町などもそうですが、江戸時代までは資料がこれしかないというところでわかっていきます。平成は、平成二十三年に三・一一があつて、その直前にこの地域がどんなだったかがわかる写真とか資料がほとんどない。

——当たり前の日常は撮っていないんですね。

西村 そうです。しかも、ポイントも携帯カメラになったことです。それぞれに写真は持っている、けれどもデータが飛んじやって無くなっているとか、そもそも携帯カメラの画素数が小さすぎて何かで見ようと思っても、ドットみ

しれない。そうすると山梨県の医療史には重要な位置づけになるかなと思います。

——なるほど。資料があるからわかる。

西村 我々は、資料の無いことは語れないので。ちょっとでも資料があれば語れます。例えば、今僕がやっているのは「大字誌」というものです。

——大字って、住所の大字ですか。

西村 そうです。「大字誌両竹」は、地震・津波・原子力災害で地域の半分は壊滅、半分は原発被災地で入れなくなった集落で、その地域の歴史をなんとか残そうという活動です。クラウドファンディングを僕が募集して、本を十年間かけて一冊ずつ出していくというものです。

——こちらは。

西村 「大字誌浪江町権現堂」のススメ」は両竹地区とは違うものです。二〇一八年に帰還できるようになったのですが、帰還のために解体除染をやってしまったので、地域の古文書類がほとんど失われてしまった。「創造的復興」が

たいになってよく見えない。写真として焼き付けて残していた時代はいいのですが、データの時代って実は皆さんわからなくなっているんです。平成史をこの後、書けるかどうか。平成の時代にたくさん作られたはずのミニコミ誌が今どこにもなかったりする。これが結構重要で。えくてびあはバックナンバー全部見られるのですか。

——見られます。国立国会図書館にも所蔵してもらっていますし、立川市内の図書館にも、もちろん弊社でも見られます。

西村 それはよかったです。特に企業さんが出しているミニコミ誌は散逸しやすくて、これが中を見てみると、結構重要だったりします。

——「大字誌浪江町権現堂」のススメ」は面白い体裁ですね。

西村 ブログで書いていたものをまとめたんです。サイドバーには後から教えていただいたことや雑感など、ブログで書いた後から書き込まれたものが記述されています。それとは別に大熊町の古文書はYouTubeで毎日配信させてもらっています。いろんなツールを使うのが好きで…。

——今うかがっただけでも、ブログ、SNS、YouTubeとあって。

西村 ええ。現在メディアとして来るのは音声なので、聞き流しができたりするものが来るだろうなと思っています。

——YouTubeも音声メディアとして使っている人が増えていますよね。

西村 僕の場合は古文書ということで、映像が見られた方がいいかなと思っていますが、チャンネル登録数があるうすぐ四百を越えます。

——古文書って今、流行りですもんね。

西村 古文書講座とかやるとすぐ満員になりますよ。ですから、なんとか仕事を辞めて、ユーチューバーにならないかなと思ったりして（笑）。

西村慎太郎さん

国文学研究資料館 研究部 教授。NPO法人歴史資料継承機構じゃんびん代表理事。青梅市出身。現在も青梅在住。学習院大学在学中より古文書や民具など、歴史資料の保全活動に携わっている。現在はNPO法人歴史資料継承機構じゃんびんの代表理事であり、ボランティアとしても精力的に活動が続けている。



西村慎太郎さん

はびこる、そのあおりを受けてしまつて今は新しいものしかありません。ここには条里制の田んぼの跡、古代の遺跡があつたのですが、新しく街を作り直すために全部壊して、今、隈研吾さんがプランニングをしています。

——ここも隈研吾さん（笑）。国営昭和記念公園にも隈研吾さん設計のカフェができました。でもそれも歴史といえは歴史なんですよね。

西村 そうなんですよ。どがいいとか悪いとか言えないんです。でもまずはみんながバラバラになつてくる時に、ひとつ軸になるのが歴史で、昔みんながやってきたことを見るきっかけになるといいかなと思います。それがこの本の出発です。同じ地域だったら共通言語でしゃべれることがありますよね。思想とかがバラバラでも、軸になるもの、思い出話とかが軸になればいいと思うんです。

——ところで古文書はどうやって探すのですか。

西村 今は、わからないから見て欲しいと連絡もらうことが多いです。僕が学生の頃は先輩について行つて、「古文書の調査をやっているのですが、古文書があつたら目録とつたり整理します」と言つて、直接お宅にうかがいました。

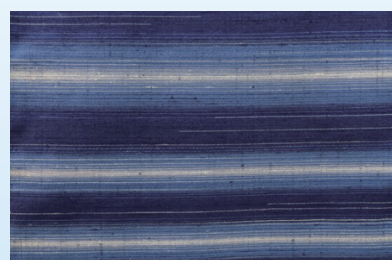
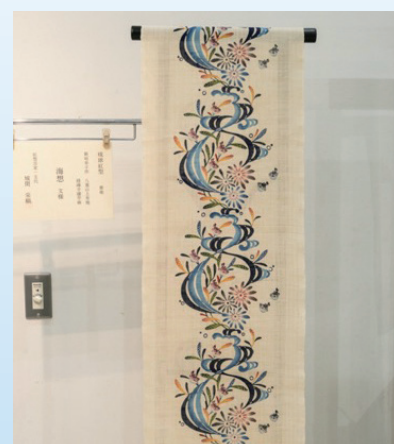
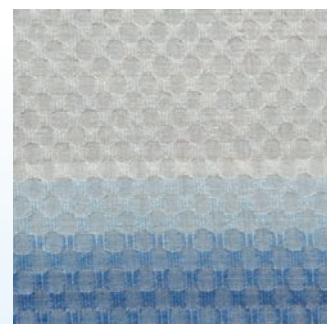
——不審がられたりしないのですか。

西村 僕が学部二年とか三年の時は、オウム真理教が上九一色村でサティアンを作っていた時で、山梨県辺りに若い人が多人数で行くと宗教だと思われて、まず「怪しくないです」の説明をするところから始まりましたね。

——立川近辺から依頼されることはないのですか。



展示の様子



玉糸の風合いが美しい作品

さすが中屋さん。
会場に並んでいたのは、すばらしい手仕事の作品たち。
すべて中屋さんのコレクション。
ご主人の中里晋さんは「道楽」と仰るけれど、実は高尚な趣味。
奥様の操さんは、作品についての資料も制作されました。
会場で説明を聴きながら拝見すると、今まで知らなかった世界が広がって、
作品を持つ物語に引き込まれました。
見て、聴いて、知ることから始まる、想いの伝承。
一部をここに掲載しましたが、すばらしい展覧会でした。

創業百周年記念展「伝承」消えゆく手仕事
立川駅南口にある着物屋さんほっとすパーす中屋さんが主催した
販売を伴わない「豪華な展覧会」



主催者の中里晋さん

※会期は2022年12月6日～8日まで、
会場はたましん RISURU ホール地下展示場でした。
※この件に関するお問い合わせは、
ほっとすパーす中屋さんまで。(042-522-2932)

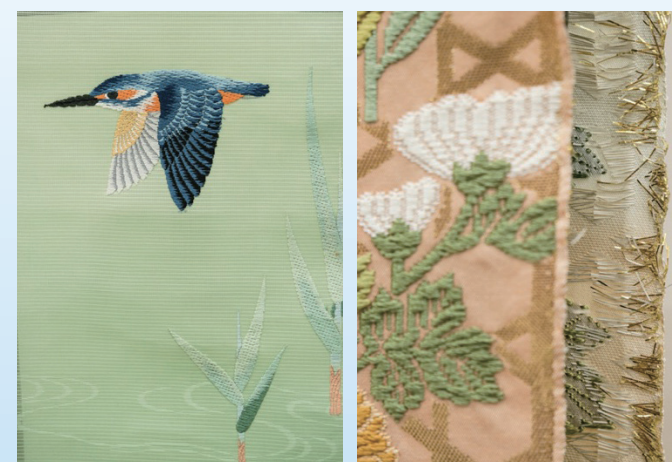
作り手の想いを伝えたい



パネルの写真にある芭蕉の繊維を使った芭蕉布の織物
人間国宝 平良敏子さん(2022年、101歳で逝去)の作品



沖縄を代表する紅型染 藤村玲子さんの作品



金糸、銀糸を用いた色鮮やかな唐織袋帯
山口安次郎さん(2010年、105歳で逝去)の作品
山口安次郎さんは能装束を支えた人として有名
裏を見ると刺繍ではなく糸を織り込んでいることがわかる。



芭蕉の繊維は1m弱の長さ、それを結んで繋いで
着尺(12m)にする。近くに寄ってもそのつなぎ目
がまったくわからない。

えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 緑町・泉町・西砂町・一番町・上砂町・砂川町 柏町・幸町・若葉町・栄町・高松町のお店です。	
● 緑町	国立国語研究所 540-4300 国立極地研究所 512-0652 南極・北極科学館 512-0910 国文学研究資料館 050-5533-2900 花みどり文化センター 528-1751 昭和天皇記念館 540-0429
● 泉町	インヴォラーレ・ルーデンス 立川ルーデンスデニスクラブ 525-9677 blooming bloomy 5らぼーと立川立飛店 548-1215 海上保安庁海上保安試験研究センター 526-5630 Café はあもにい 512-7810 大和ハウス工業(株)多摩支店 525-1821
● 西砂町	砂川庵 碁五郎 531-6788
● 一番町	私立立川ひかり保育園 531-1273
● 上砂町	B3+ギャラリーウェルメイド 538-7250 fresh shop スーパーはしもと 536-2331
● 砂川町	みの一れ立川 538-7227 陶工房 己流庵 537-6102 たましん 砂川支店 535-4411 珈琲豆焙煎工房 まめ吉 535-1070 BREAD & Sweets マニシェール 537-2202
● 柏町	山梨中央銀行 立川支店 536-0871 株式会社 セレモア 534-1111 超こってりらーめん パワー軒 535-1665 H.works 537-7763 ベーカリー リオンドール 535-4882 (有) まつい測量 534-4411 ビーコック 玉川上水店 538-3861 菅家医院 536-4602
● 幸町	いなげや 立川幸店 537-1820 たましん 幸町支店 535-5311 中国料理 SANFUJI 536-3813 西武信用金庫 幸町支店 537-3101 お米屋さん 大黒屋 536-0851 松浦商事 株式会社 535-6001 至誠キートンホーム 538-2323 とんかつ・割烹 かつ亭 535-4611 ドイツ製法ハム・ソーセージゼーホフ工房 535-5009 和洋菓子 たちばな 537-0347 青梅信用金庫 535-3411 BS タイヤショップ 佐藤商会 537-0912 在宅療養支援診療所 立川在宅ケアクリニック 534-6964 古楽の小屋 ロバハウス 536-7266
● 若葉町	スーパー ヤオコー 538-1711 ありた整骨院 534-1622 カフェ タイニーガーデン 507-1346 カフェ・レストラン てくたく 536-5788
● 栄町	たましん 栄町支店 536-9711 いなげや 立川栄町店 523-7201 チーズ王国 本社 513-4101 高橋酒店 522-4479 彩食中華 須崎 507-0981 寝具の石川 524-1333 手作りパン工房 Bonheur ～ポヌール～ 536-3207 メンズカット ヤザワ 536-8738 エフエムラジオ立川株式会社 537-8102 (株)立飛ホールディングス 536-1272 大型コインランドリー マンマチャオ栄町店
● 高松町	立飛麦酒醸造所 527-1894 金田スイミングスクール立川立飛

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我淨〉

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我淨は
スマホアプリ「スカパー！番組表」（無料）で視聴できます。

J:COM 多摩：11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

すばらしかった年末の無料コンサート

12月21日に立川ステージガーデンで行われた無料コンサート「立飛グループ創立100周年事業『Sound of Christmas』」。オーケストラとN.Y.ブロードウェイで活躍するヴォーカリストたちによるクリスマス・スペシャルコンサートはとても豪華な内容でした。もちろん満席。18時半からの開演に、午前11時から



並んだお客様もあったとか。冒頭司会者から「赤ちゃんの泣き声も音楽の1つと思って」という優しい挨拶があって、お子さん連れのお客さまの安堵が会場に伝播。和やかで楽しく温かいコンサートとなりました。江東区からいらしたというお客様は「こんな人に優しいコンサート他にないです」と。都心から立川へと人が流れてくる日も近い、かな。

木下サーカス 初日迎えました

初日の公演から



写真・資料提供：立川消防署



空の不思議

12月8日、夜空を見上げたら、満月が光の輪を携えて輝いていました。月暈と呼ばれる光の輪は、細かい氷の結晶が月の光に反射して起こる現象だそうですが、きれいでした。

アートインスタレーション

立川市の「まち全体が美術館」構想に呼応したGREEN SPRINGSのアートインスタレーション。2月14日まで開催中です。まだご覧になっていない方は是非！



山下洋輔さん、クリスマスライブ

立川ならではの贅沢なコンサートがもう1つ。世界の山下を間近で聴くことができるなんて、本当に幸せなこと！パーカッションの福岡たかしさんもすばらしい。主催は「文化・芸術いきいきネットワーク」です。このコンサート、早くにチケットを購入しないとすぐ無くなってしまうそうですが、当然ですよ、世界の山下洋輔ですから！毎年12月半ば、クリスマス前に開催されています。要チェックです。



12月16日 RISURU ホールで



新年はやっぱり出初式から

1月8日、新春の陽光暖かい中に「令和五年 立川市消防出初式」が国営昭和記念公園で行われました。200人以上の関係者に、多くのご来賓、さらに市民の皆さんが集い、最後は一斉放水。来賓のご挨拶にもありましたが、昨年末には歳末巡回が終わってから火事が発生。今年はさらに1人ひとりが注意して、安全で安心な街にしていきたいですね。



表紙

朝の霧（多摩川）

立川で川と言えば、一級河川の多摩川。立川北側を流れる玉川上水も、羽村取水口から多摩川の水を引き入れています。江戸時代、参勤交代の制度が確立し急激に人口が増加した江戸の町。その南西部一帯に水を分けてもなお滔々と流れる多摩川。埼玉県秩父市と山梨県甲州市の境にある笠取山の水干（ミズヒ）を水源とし、東京湾まで138kmを流れていく。寒く冷え込んだ朝、日野と立川をつなぐ立日橋下に霧がでることがあります。陽が昇り始める時間、水面も霧も赤く、あるいは黄金に染まって、とても幻想的な景色になります。清少納言も「冬はつとめて」と記したように、冬の早朝にはいつもとは違う趣があるようです。

かたこと

◆年が改まって、コロナの問題、ウクライナの状況、思うようにいきません。一方、あらゆる方面の値上げラッシュ。暮らしが楽になるとはとても思えませんが、「大変でも大変なりに楽しむことができる」と、ひとり親の会「立川みらい」の篠原輝美さんはおっしゃっていました。これこそが生きる力ですね◆昨年末、昭和基地に入った第64次南極地域観測隊は、観測船しらせでお正月を迎え、1月2日から観測活動や基地設営作業を進めているそうです。今年はメディアにテレビが入っていて、映像でリアルタイムに南極を知ることができて、これも楽しい◆年頭の箱根駅伝を楽しんだ方も多かったでしょう。今年は第100回の予選会がいつも通り立川で行われます。100回ですから特別です。予選会出場枠が全国に広げられ、我こそは！の大学がやってきます。これも楽しいじゃないですか◆大変だ～と嘆くよりも、「こんな時代もあつてこうやってみんな乗り越えた、そんな歴史を残すのも大事なのだ」と、西村先生のお話を聞いて感じました。立川の昭和の写真を多く所蔵している立川印刷所さんも、「ハレの日みんな写真を残すけれど、日常の記録ってないんだよね」とおっしゃっていました。昭和や平成の記録、お持ちの方は大事に取っておいてくださいね。散逸しないように。みんなで立川の今を残していきましょう。

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑨

2月号 第39巻 通巻455号

令和5年2月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷 ダイオーミウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。



キヌガサギク、ナンキンハゼ 写真右側が「根川のせせらぎ」 花、花器とも大森良子

私の立川 私と立川

スープカフェ なんでもない日の穏やかな日々

「なんでもない日」のオーナー、真知子さんと小学校からずっと同じ学び舎に通い、喜びも悲しみも分け合って共に生きて来られたことは幸運でした。

彼女の作る作品には、ぬいぐるみでも小説でもスープでも、その全てに、つい触れてみたくなるような深い優しさが溢れていて、私は、何度もそこから生きる力をもらいました。

八年前、開店直後にお店を訪ねて、彼女がここで人と人を繋ごうとしているのだということを強く感じました。私はその精神に賛同し、大人の、英語との再会を目指した「やり直し英語塾」を開かせて頂きました。日本では受験や就職という未来の自分への担保として学ばれることが多い英語ですが、ここでは「今日のために今日学ぶ英語」を目指しています。「カントリーロード」を歌い、「泥んこハリー」を英語で読む。そして、自分の体験や考えを英語で発表し合う喜びをもたらせたら、と夢が広がります——おいしいスープと素敵なお花に見守られながら。